

「芸術の秋」力作がずらり!

町美術展

笠松町生誕120年記念第39回笠松町美術展が10月31日から11月2日まで、中央公民館・町民体育館で開催されました。

31日には、オープニングセレモニーが行われ、待ちかねた皆さんが会場に詰めかけました。

日本画、水墨画、洋画、版画、彫塑・工芸、書、写真の部門に380人から491点の作品が展示されました。3日間で町内外から1,400人程の参観者が来場し、力作に感心していました。

また、町生誕120年記念『わがまち「かさまつ」ふれあい記念展』コーナーでは、笠松ならではの作品に見入っていました。



版画を鑑賞する観覧者たち

そして、企画運営委員の皆さんによるチャリティ小品展が同時に開催され、その収益金は、町社会福祉協議会へ寄附されました。

生涯学習発表会を開催

作品の展示・ステージ発表



澄んだ音色を奏でたオカリナのステージ発表

生涯学習発表会が、11月15日に中央公民館で行われ、日ごろの学習の成果が発表されました。

会場には、写真、習字、生け花、木版画、木目込み人形など多数の作品が展示されました。

また、煎茶や抹茶のお点前披露は茶華道室、大ホールでは、体操、コーラス、太極拳、踊りなど11講座のステージ発表もあり、訪れた皆さんを楽しませました。

第3回 水防工法競技大会

木曽川右岸地帯水防事務組合

10月25日、木曽川右岸地帯水防事務組合(管理者広江正明笠松町長)主催の第3回水防工法競技大会が笠松競馬場西駐車場で開催されました。

この大会は、水防団員の士気高揚、洪水時の即応の作業向上、水防体制の万全、区域住民の水防に対する理解と協力を得ることを目的で行われました。

笠松町をはじめ岐南町・岐阜市・各務原市の15水防団が参加し、積土のう工法には7団が、月の輪工法には8団が日頃の訓練の成果を競いました。



月の輪工法をする水防団員たち

当町の成績は次のとおりです。

積土のう工法の部 準優勝 円城寺水防団
月の輪工法の部 準優勝 笠松水防団